

平成 29 年度内閣府 地震・津波防災訓練 【愛知県武豊町】

実施報告書 (概要版)



愛知県武豊町について

武豊町（たけとよちょう）は、知多半島中央部に位置し、東は衣浦港に面し、北は半田市、西は常滑市、南は美浜町に接した町です。

人口は約43,000人、総面積約25.92km²、東西に4.8km南北に6.5kmで、標高は高いところでも83.52mと比較的なだらかな地形です。武豊町は衣浦臨海工業地帯の一翼を担う工業都市として飛躍的に発展しています。

現在、武豊町では、「心つなぎみんな輝くまち武豊」を町総合計画のまちの将来像に掲げ、災害時には、地域が主体となって災害発生を最小限にとどめ、被害の早期復旧や復興を図る対策に取り組んでいます。



地図出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：11月5日（日）午前9時、駿河湾から日向灘を震源域とした大規模な地震が発生した。東海地方から西日本の広い範囲で非常に激しく揺れ、武豊町では最大震度7を観測し、地震発生直後、気象庁は愛知県外海及び伊勢・三河湾に「大津波警報」を発表した。
- 実施日時：平成29年11月5日（日）9:00～11:30
シェイクアウト訓練、津波避難訓練 9:00～9:30
メイン会場、サブ会場での訓練、啓発展示 9:30～11:30
- 主 催：内閣府、愛知県、武豊町
- 参加者数：5,000名（※参加機関を含む。）
- 参加機関：愛知県警察、知多中部広域事務組合消防本部、自衛隊、指定地方行政機関、防災関係機関、医療関係機関、指定公共機関、指定地方公共機関、自主防災組織、ボランティア団体、地域住民、地元企業 等

当日の訓練内容

9:00～ シェイクアウト訓練、津波避難訓練

緊急地震速報を合図に、各自が身を守る行動を実施するシェイクアウト訓練を実施した。

シェイクアウト訓練の直後に、防災行政無線により避難を呼びかけ、避難指示の発令を合図に、町内一斉に避難を行った。

▼シェイクアウト訓練



▼津波避難訓練



9:30～ 合同防災訓練

衣浦小学校グラウンドにおいて、倒壊家屋からの救出訓練、被災車両からの救助及び道路啓開訓練、応急救護所開設・運営訓練、高所からの救出訓練、消火訓練等、参加機関による訓練を行い、災害時における総合防災体制の確立と住民の意識高揚を図った。

▼被災車両からの救助
及び道路啓開



▼応急救護所開設・
運営訓練



9:30～ パネル等展示、防災・啓発グッズの提供・体験等

衣浦小学校体育館において、各種参加機関によるパネル展示や体験を行い、住民の防災意識の高揚を図った。

また、プレイルーム等において、防災リーダー会や防災ボランティアによる防災啓発パネルの展示、家具固定体験を行った。

▼パネル展示



▼災害ボランティアセンターに関する広報



9:30～ 避難所の開設・運営等

富貴中学校において、避難所の開設・運営や避難所内での福祉コーナー設置と要配慮者講座、救援物資の輸送等を行った。

武豊町総合体育館において、災害ボランティアセンターの開設・運営訓練を行い、ボランティアの受付から活動までの流れを確認した。

▼避難所内での福祉コーナー
設置と要配慮者講座



▼災害ボランティアセンター
の開設・運営



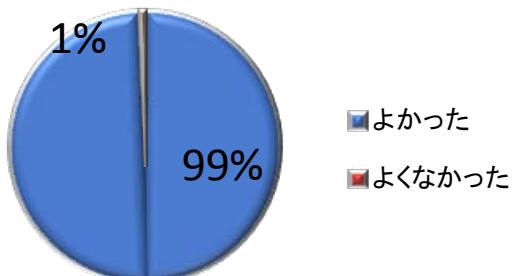
今後に向けた課題

アンケート結果

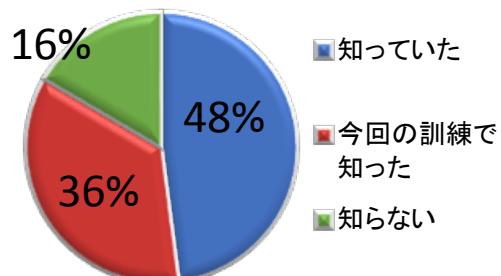
住民の方々の防災意識や津波避難対策への取組状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（回答数：316人）

問 訓練に参加して、どう思いましたか？

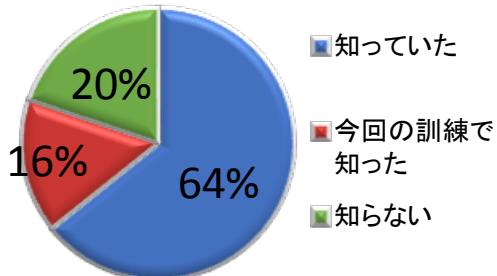
（回答数：314人）



問 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていますか？（回答数：315人）



問 ご自宅からの津波避難経路を知っていますか？（回答数：313人）



（注：回答数は無回答分を除いて集計）

訓練の評価

訓練当日は好天に恵まれ、自主防災組織（地域住民）や参加機関等合わせて約5,000名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、地域住民のアンケート結果等を分析し、今後の防災・減災対策や防災訓練の参考となるよう「課題と対策案」として整理した。この結果、本訓練は以下のように評価できるものであったといえる。

- 地域住民からは「参加して良かった」という意見が9割以上を占め、今回の訓練は地震・津波防災の一連の行動を学ぶ効果的な機会となった。
- 参加した機関では、複数が同時に連携して訓練に臨む意義が理解された。
- 地域住民主体による避難所の開設・運営を通じて、災害時の行動が確認できた。

また、次のような課題が指摘された。

- 訓練に参加した地域住民の約3割が、今回の訓練で初めて「武豊町防災マップ」、「武豊町防災ガイドブック」を手にした現状を踏まえて、これらガイドブック等の普及・啓発を強化する必要がある。
- 防災訓練は、町全体の取組として開催したが、避難所の開設・運営は一部の地域のみであり、今後は、他の地域においても、同様の訓練を行い、地域力を強化していく必要がある。